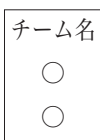


令和5年度全日本少年少女武道（銃剣道）錬成大会要項

- 趣 旨 全国の小・中学生を対象に基本錬成を主眼とし、やって楽しく、見て楽しい銃剣道・短剣道の普及並びに心身の錬磨と相互の親睦を図り、我が国の将来を担う青少年の健全なる育成に資する。
- 主 催 公益財団法人日本武道館・公益社団法人全日本銃剣道連盟
- 後援(予定) スポーツ庁・日本武道協議会
- 期 日 令和5年8月2日(水) 午前9時00分開会
- 会 場 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園 2-3
- 参加資格 健康上支障ないと認められた小・中学生で、責任者のいる団体であること。なお、未就学児童の参加は認めない。
- 参加要領 (1)申込方法 規定の申込用紙と参加費振込明細書に所定事項を記入し、送付すること(参加費は、同封の銀行振込依頼書にて送金のこと。振込期限は申込締切と同日とする)。
一旦納入された参加費は、一切返金しない。
(2)申 込 先 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園 2-3 日本武道館振興課 銃剣道係 宛
(3)申込締切 令和5年6月9日(金) 必着。申込書は、封筒で郵送のこと。
(4)服 装 等 ア. 選手は、紺色または白色の銃剣道衣または剣道着に、袴を着用するものとし、上下混用を認める。
ただし、団体戦出場の場合はチームで統一すること。有段者の監督は銃剣道衣を着用すること。
イ. 小学5年生以上の用具を着装して試合を行う選手が面を着装する際は、武道用具店等が販売する面専用の「フェイスガード」または「マウスガード」等を着用すること。マスクの着用は各自の判断とする。

- (5)ゼッケン 選手は垂の中央部に、



とチーム名・姓を白書した黒または紺の布をつける。

小学4年生以下は、全銃剣連で準備した番号札をつける(受付時に配布)。

- (6)受付場所 西口正面玄関
 - (7)入場制限 今年度はありません。
 - (8)時 程 (ア)午前8時00分受付開始
(イ)午前8時30分受付終了
(ウ)午前8時50分集合完了
(エ)午前9時00分開会
(オ)午後5時終了予定
8. 参加費 1人…900円(選手のみ。監督は不要。)
9. 振込先 三菱UFJ銀行 神田支店 普通3817525
コウエキザイダンホウジンニッポンブドウカントクベツカイケイジュウケンドウグチ
公益財団法人日本武道館特別会計銃剣道口
10. 錬成内容 (1)銃剣道
- ア、合同錬成 小学4年生以下、小学5年生以上に区分し、合同稽古を行う。
 - イ、団体試合錬成 小学5・6年生、中学生に区分し、3名を1チームとする(やむを得ず2名の編成になる場合は、先鋒、大将とし、中堅を欠員とすること)。男女混合可とし、同一団体からの出場チーム数の制限はしない。単一団体チームが組めない場合にかぎり、同一都道府県内の合同チームによる出場を認める。
 - ウ、個人試合錬成 小・中学生とも学年ごととし(女子は小学5・6年生、中学生に区分する)、小学4年生以下は、用具を着装しない基本技とする。ただし、学年参加者が15名以下の場合は、その近い学年と同区分とする。
 - エ、試合方式
(ア)団体試合錬成 試合時間3分・3本勝負とし、トーナメント方式で行う。試合時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとし、勝者数の多いチームを勝ちとする。勝者数が同数の場合は勝本数の多いチームを勝ちとし、勝者数、勝本数ともに同数の場合は代表者による3分1本勝負で勝敗を決定する。代表戦で試合時間内に勝敗が決しない場合は延長2分と

裏面もお読みください

し、勝敗が決するまで行う。参加チーム数により1回戦をリーグ戦とする場合がある。

(イ)個人試合錬成 小学5・6年生、中学生は試合時間3分・3本勝負とし、トーナメント方式で行う。試合時間内に勝敗が決しない場合は延長2分とし、勝敗が決するまで行う。参加選手数により1回戦をリーグ戦とする場合がある。

小学4年生以下は、3名または4名(参加人数により5名)1組によるリーグ戦を行い、各リーグ最上位者によるトーナメント方式で行う。ただし、リーグの数が7つ以下の場合は、各リーグ上位2名がトーナメント戦に進出できる。リーグ戦の順位決定方法は、勝数が最も多い者を最上位として順位を決定するものとする。勝数が同数の場合は、旗数の多い者を上位とし、勝数・旗数とも同数の場合は再試合を行い、順位を決定する。

(2)短剣道

ア、合同錬成 小学4年生以下、小学5年生以上に区分し、合同稽古を行う。

イ、個人試合錬成 小学1・2年生、小学3・4年生、小学5・6年生、中学生に区分し、男女混合とする。小学4年生以下は、用具を着装しない基本技とする。

ウ、試合方式

(ア)小学5・6年生、中学生は試合時間3分・3本勝負とし、トーナメント方式で行う。

試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長2分とし、勝敗が決するまで行う。

(イ)小学4年生以下は、トーナメント方式で行う。

(ウ)参加選手数により1回戦をリーグ戦とする場合がある。

11. 選手変更 ケガ等の理由で団体戦選手の変更を要する場合は、大会当日開会式終了までに選手変更手続を行うこと。

12. 表彰 (1)銃剣道団体試合錬成 小学5・6年生、中学生の部に、それぞれ優秀賞(1チーム)、優良賞(1チーム)、敢闘賞(2チーム)、努力賞(4チーム・賞状のみ)を贈る。

(2)銃剣道個人試合錬成 小・中学生の学年ごとに優秀賞(1チーム)、優良賞(1チーム)、敢闘賞(2チーム)、努力賞(4チーム・賞状のみ)を贈る。

(3)短剣道個人試合錬成 小・中学生の試合区分ごとに優秀賞(1チーム)、優良賞(1チーム)、敢闘賞(2チーム)、努力賞(4チーム・賞状のみ)を贈る。

(4)参加者全員に参加章を贈る。

13. 感染症対策 別紙、『新型コロナウイルスの感染防止について(お願い)』を必ず一読のこと。

14. 安全対策 (1)安全管理には万全を期すが、大会中万一事故が発生した場合は、医師または看護師により応急処置を施す。当日、病院等で診療を受けた場合は、主催者が初診料を負担する。参加者は、健康保険証(コピー可)を持参のこと。なお、日本武道館では武道大会傷害保険に加入している。

(2)引率者及び監督並びに保護者は、参加者が過労にならないように日程に留意し、特に体調不十分な者は参加させないよう配慮すること。

(3)引率者及び監督並びに保護者は、会場の往復及び試合場内外における参加者の行動、特にマナーに十分注意し、事故防止に努めること。

15. その他 (1)参加する道場・クラブ・学校等には、大会細部実施要領を送付する。

(2)主催者公認の報道機関等が撮影した写真が、報告書・新聞・雑誌・関連ホームページ等で公開されることがある。

(3)主催者公認の報道機関等が撮影した映像が、録画放送及びインターネットで配信されることがある。

(4)主催者では、宿泊等の斡旋業務は行わないので、各自で手配すること。なお、弁当の斡旋については、出場する団体に対して、後日案内する。

〔問い合わせ先〕(公財)日本武道館振興課 TEL 03(3216)5134 FAX 03(3216)5117

(公社)全日本銃剣道連盟 TEL 03(6910)0707 FAX 03(6910)0708

(土・日・祝日を除く午前10時～正午・午後1時～午後5時)

以上